



2026 年 6 月 22 日

各位

会社名 株式会社トライアイズ
代表者 代表取締役社長 岩尾 俊兵
(コード 4840 東証スタンダード)
問合せ先 情報技術戦略部 IRG 宮本 睦
電話 03(3221)0211

株式会社トライアイズ、株式会社コピーとのフィジカル AI 分野における将来的な資本提携の可能性を視野に入れた業務提携開始のお知らせ

2026 年 6 月 19 日の『日本経済新聞』において、日本政府は「人工知能（AI）を用いてロボットなどを自律的に動かす「フィジカル AI」に、官民で 2040 年度までに 10.5 兆円を投資する（引用）」と報道されました。フィジカル AI が今後のトレンドとなることが明らかな中で、東京大学・米スタンフォード大学・仏 Inria 等のトップエンジニアが集積して早期から当該分野について研究開発をおこなっていた株式会社コピーが、このトレンドの中心地のひとつとなると考えられます。

当社は、2026 年 3 月 26 日より経営陣を一新し、慶應義塾大学商学部准教授である岩尾俊兵が CEO に就任し、過去に NEXT ユニコーンとされた健康管理システムを構築した技術者である小林尚生が COO/CTO に就任することで、老舗企業を連続的に事業承継しつつ、経営科学及び人工知能（AI）をはじめとする情報理工学を用いて企業革新をおこない、老舗企業を次の 100 年に繋ぐ「100 年企業継承カンパニー」戦略を掲げて再スタートアップ期に入っております。

こうした中、当社は、物理的な（フィジカルな）業務革新に必須な、説明可能 AI（XAI）及び AI 品質保証（QAAI）を基盤とし、トヨタ自動車など豊富な顧客基盤を持ち、製造業をはじめとするミッションクリティカル領域における AI 開発・運用・品質管理に強みを有する株式会社コピー（以下「コピー」といいます。<https://copy.co.jp/>）との間で、当社の M&A 実行、子会社 PMI 及び M&A 関連システム開発全般におけるフィジカル AI 活用・開発について協業する将来的な資本提携の可能性を視野に入れた業務提携（以下「本提携」といいます。）を開始することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本提携の背景及び目的

当社は、長年にわたり社会に価値を提供してきた老舗企業の事業を M&A により承継し、経

営科学及び情報理工学を導入することで、次の 100 年の成長を実現する「百年企業継承カンパニー」構想を掲げております。老舗企業の多くは、製造、建設、物流、アパレル等の現場業務に根差した強固な事業基盤、技術、顧客基盤及び人的資本を有しており、これらに AI をはじめとする先端技術を組み合わせることにより、生産性、品質、収益性及び経営管理水準を大きく向上させる余地があるものと考えております。

コピーは、説明可能 AI (XAI) 及び AI 品質保証 (QAAI) を基盤とする日仏発の AI スタートアップであり、製造業をはじめとするミッションクリティカル領域における AI の開発・運用・品質管理に強みを有しております。同社は、製造現場における外観検査、設備保全、作業計画最適化等の領域で AI 活用を支援しており、当社が今後承継する老舗企業の現場業務に対しても、実践的な AI 実装を進めるうえで有力なパートナーであると考えております。

本提携により、当社が有する M&A、PMI、経営改革及び投資判断に関する知見と、コピーが有する製造業をはじめとする現場領域での AI 開発・実装力を組み合わせ、承継後企業の PMI をより迅速かつ実効性あるものとして推進してまいります。

また、同社は、トヨタ自動車株式会社、株式会社アイシン等の大手製造業企業・団体との取引実績を公表しており、先端 AI 技術の社会実装に向けた実績を蓄積しております。さらに、同社は IPO を見据えたガバナンス・コンプライアンス体制の整備フェーズにあり、技術力に加えて、成長企業としての管理体制の強化にも取り組んでいるものと認識しております。

当社が推進するスマートカンパニー及びスマートインベストメントに関する取り組みについても、コピーの協力を得ることで、経営情報の収集・分析、投資先又はグループ会社のモニタリング、意思決定支援、業務自動化等の高度化を進め、当社グループ全体の生産性及び投資効率の向上を図ってまいります。



2. 本提携の内容

本提携は、当社の M&A 実行、子会社 PMI 及び M&A 関連システム開発全般を対象とし、両社の協力関係を構築し、経営資源を相互活用するものです。具体的な業務内容、役割、費用分担及び業務開始日等は、必要に応じて個別契約で定めます。

- (1) 当社の M&A 実行、子会社 PMI 及び M&A 関連システム開発全般に関する協力
- (2) 実践的な経営科学の研究開発並びに AI をはじめとする情報理工学を用いたシステム開発サービスの企画、設計及び開発支援
- (3) コピーによる、当社の本業務に関する外部経営パートナーとしての人工知能構築支援及び AI 構築支援サービスの提供
- (4) 将来的な資本提携の可能性の検討

3. 業務提携先の概要

(1) 名称	株式会社コーピー (Corpy & Co., Inc.)
(2) 所在地	東京都千代田区神田神保町 1-44-11
(3) 代表者	山元 浩平
(4) 事業内容	AI 開発・運用管理ソリューションの提供 (AI 運用管理ソリューション「CONFIDE」等)
(5) 設立年月日	2017 年 3 月 6 日
(6) 主な取引先	トヨタ自動車株式会社、株式会社アイシン、東日本旅客鉄道株式会社、JEF スチール株式会社、株式会社マクニカ、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)、国立研究開発法人産業技術総合研究所 (AIST) 等
(7) 当社との関係	資本関係：記載すべき資本関係はありません。 人的関係：記載すべき人的関係はありません。 取引関係：本提携開始前に記載すべき取引関係はありません。 関連当事者への該当状況：該当事項はありません。

4. 日程

(1) 業務提携開始日	2026 年 6 月 22 日
(2) 業務提携契約締結日	2026 年 6 月 22 日

5. 今後の見通し

本提携が当社の当期連結業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。具体的事項は今後必要に応じて個別契約で定めることとしており、資本提携については、本日現在、決定した事実はありません。今後、本提携の進捗に伴い、公表すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上